

# 山口と船坂と名塩・生瀬



## ぷらっとウォーク 西宮探訪MAP

有馬川の自然と祭りなどの伝統文化が息づく、山口。古民家や棚田が残る美しい里山、船坂。蘭学と和紙の里、名塩。六甲北麓の緑の恵みの中で、特有の生活文化を織りなしてきた北部地域。語り継がれる伝説や貴重な文化遺産の数々に、歴史ロマンを感じずにはいられないエリアです。



# 山口～船坂～名塩・生瀬

## さくらやまなみバス

山口村(現・山口町)が西宮市と合併したのは昭和26年(1951)。その時から南北の交通は大きな課題で、盤滝トンネル(西宮北有料道路)開通などの道路整備の後も、南部市街地と山口地域を直通で繋ぐ交通機関がなく、他市にまたがるバスと電車を乗り継ぐ必要がありました。そんな不便を解決する待望の路線バスとして、平成21年(2009)4月1日から定期運行されたのが「さくらやまなみバス」。運行ルートは、西宮北口から阪急夙川駅までの各線各駅を通り北上。盤滝トンネルを抜けた舟坂橋から北へ進み、金仙寺湖を通る「金仙寺系統」と、舟坂橋から有馬街道(宝塚唐櫃線)を西へ抜け、有馬温泉を経由する「有馬系統」の2系統があり、山口町内を網羅しています。



市民の足としてだけでなく、沿線は文化と自然が織りなす見どころも多数。市街地から山間部へと移り変わる景色を眺めながら、小旅行気分が味わえます。



## 有馬街道

有馬街道は大阪や神戸から有馬温泉へ至る街道の名称で、歴史的には複数のルートが同じ名で呼ばれています。その中で最も歴史が古く、太閤秀吉をはじめ、貴族や武家が往来したといわれるのが、現在の県道51号(宝塚唐櫃線)。ですが、当時は生瀬から船坂までの道は太多田川の溪谷。ここを通行する人々はこの瀬を左右にとび越えつつ進むので「四十八カ瀬」と呼ぶ難所でした。交通のさまたげになると、弘法大師が山腹に投げ上げたという「しるべ岩」。目の不自由な僧(座頭)が道に迷い亡くなったことから呼ばれる「座頭谷」。その話を聞いた秀吉が座頭を憐れみ、しるべ岩に「右ありま道」と書き示したなど、さまざまな伝説や逸話が残っています。



## 名産品



### 名塩和紙

原料に野生の雁皮のみを使い、微粒子の泥を入れて漉く、他には例をみない特性の和紙。その特性から襦袢が作りやすく、江戸時代には箔打紙、藩札などの用途に広く使われていた記録も残る。国の重要無形文化財。兵庫県伝統的工芸品。

### D-4

#### 谷徳製紙所

封筒・一筆箋や名刺など、一般向けの取り扱いもございます。事前予約で見学可。TEL.0797-61-0224 名塩2-2-23 10:00~17:00 ※不定休 金・土・日・祝は要問合せ

みんなで和紙を手づくり!

### D-4

#### 名塩和紙学習館

TEL.0797-61-0880 名塩2-10-8 見学無料 9:00~17:00(入館~16:00) 休:月曜、年末年始



## 体験

名塩和紙の歴史を学んだり、紙すき体験ができる。10名以上の団体は要予約。紙すき体験の日程詳細は左記QRコードよりホームページを確認。



QR



## まだまだあります! 必見スポット


### B-3 明徳寺

本尊の阿弥陀如来立像(国・重文)は鎌倉時代後期のもので快慶の作と伝えられる。TEL.078-904-0609 山口町上山口1-4-5 ※本尊の拝観は要連絡

### E-4 教行寺

室町時代に蓮如上人により創建。※敷地内に保育園がありますので、見学の方はあらかじめご連絡ください。TEL.0797-61-0639 西宮市名塩1-20-16


### B-4 山口町郷土資料館

山口町の歴史を伝える数多くの資料や文化遺産を収集保存し、見やすく展示。TEL.078-904-3451 山口町上山口2-11-27 10:00~16:00(入館~15:30) 休:土・日曜、祝日、年末年始 

### F-3 木之元地蔵尊木元寺

ご本尊は火事から赤ん坊を守ったとの伝説から「火伏せ地蔵」とも呼ばれている。TEL.0797-61-0902 名塩木之元21-1

### E-4 塩瀬中央公園

新市街地のオアシス。斜面を利用した、自然と緑豊かな運動公園。TEL.0797-62-2565(塩瀬体育館)  東山台5

## 温泉



### E-6

#### 武田尾温泉

江戸時代に名塩の武田尾直蔵が発見したと伝えられる温泉地。武庫川を挟んで西宮と宝塚にまたがり、現在2軒の温泉がある。優れた深谷美と、桜や紅葉でも知られ、名物のぼたん鍋をはじめ、四季の風情と味覚が楽しめる。日帰り入浴できる旅館もあり。

